

令和2年度活動報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人山村塾

1. 事業の成果

- ・第1回目の緊急事態宣言中は5月の1か月間を半分休業とし、行事の中止や合宿ボランティア事業の中止を判断した。宣言解除後は、活動内容の見直しや定員数を減らすなど工夫しながら行事運営を行った。県の研修事業は感染対策を徹底しながら予定のメニューを行うことができた。
- ・2020年度から、活動コースの会費・参加費設定を見直した。しかし、行事中止や定員数削減を行ったため、一般参加者がほとんど参加できなくなり、入会数は大幅に減少した。
- ・持続化給付金によって収入減がカバーされ、黒字化することができた。オンライン会議ツールの活用により、他団体との連携にかける時間や交通費が削減された効果も考えられる。
- ・認定NPO法人の要件であるPST判定上の寄附者100名目標に対し、133名と目標を達成することができた。(※PST判定：5年間の年平均100名以上。※2019年度95名)

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
環境保全ボランティア事業	行事・里山ミニワーク・子どもキャンプ事業	年24日	八女市	延べ120名	参加者延べ321名	3,125,509
農山村又は中山間地域の振興を図るための人材育成及び交流事業	障がいをもった人にもできる森づくり活動事業	通年 (月2回) 計12回	八女市	2名	活動参加者延べ92名	112,940
	福岡県森林づくり活動安全講習会の実施	7月～3月 全10回	福岡市 飯塚市 久留米市 八女市	6名	受講者延べ121名	1,948,563
	自伐林家育成研修の実施	7月～3月 全15回 (修了者向け3回含む)	久留米市 広川町 八女市	5名	受講者25名 (修了者15名含む)	5,633,475
	奥八女芸農プロジェクト (九州大学SAL連携事業、八女茶山おどりプロジェクト)	8～11月	八女市	4名	活動参加者延べ343名	1,835,605
	研修受入れ事業	通年	八女市	3名	視察0回、体験等4回、講演等4回 計611名	213,234

	薪ボイラー販売事業	通年	八女市	1名	導入なし	0
農山村又は中山間地域の振興を図るための農産物の生産及び販売事業	自社生産販売事業 ・ラッキョウ ・棚田米生産	通年	八女市	6名	笠原地区住民 一般市民多数	1,593,699
	笠原の農産物販売事業 ・笠原棚田米プロジェクト	通年	全国	5名	笠原棚田米サ ポーター82名 棚田米農家8 軒	6,495,501
	農地保全事業 ・笠原棚田牧場 ・棚田の草刈り	通年	八女市	5名	一般市民多数	828,400
国内及び海外の団体との連携による環境保全活動	合宿ボランティア事業	5～11月	八女市	5名	合宿型8名、 日帰り・週末 30名 活動日数89 日、延べ430 人日	1,877,705
	農林地管理受託事業	通年	宮若市 八女市	2名	活動日数8 日、延べ32人 日	378,815
	パッチワークの森づくり 事業	2回	八女市	2名	活動日数2 日、延べ10名 薪づくりコー ス会員3名	64,444
	他団体との連携事業	通年	八女市	4名	主に11団体に 参加、一般市 民多数	1,041,907
	他団体の事務受託事業	通年	八女市	1名	笠原東地区構 成員	229,855
子どもの健全育成を図る事業	「山村たんけんキャン プ」の実施	※行事・里山ミニワーク・子どもキャンプ事業に含む（2020年度は実施なし）				
	こもれびの家学童保育受 入れ	※研修受入れ事業に含む。				
まちづくりの推進を図る事業	※実施なし	—	—	—	—	
災害時の被災者の救援や生活支援及び復興事業	笠原復興プロジェクト	通年	八女市	1名	笠原地区住民	316,013
	他地域の災害支援事業	4～3月	朝倉市黒 川地区	1名	朝倉市黒川地 区住民約120 世帯	71,137
全体	職員寮「えんがわ」	通年	八女市	2名	職員2名	926,300

※主な活動については資料1、合宿ボランティアについては資料2、棚田米プロジェクトについては資料3に詳細あり。